

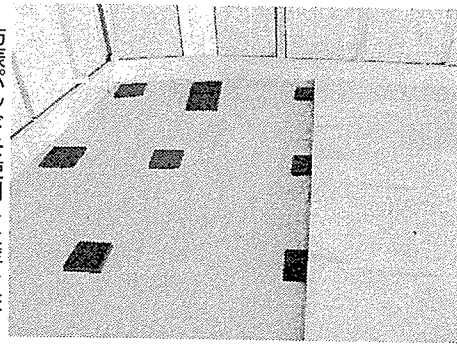
都心部オフィスビルに音楽スタジオ

清涼飲料メーカーのレッドブル・ジャパンの本社が入る東京都渋谷区のオフィスビル内に整備されたレコーディングスタジオにオーストリアの防振材メーカー、ゲッツナー・ヴェルクシュトッフエのポリウレタン製防振パッドが採用された。防振パッドは床と天井に複数設置され、外に音を漏らさない遮音性の高い空間を実現。昨年秋に日本初開催となった音楽のイベント「レッドブル・ミュージック・アカデミー」のメイン会場として使われ、多くのアーティストから高い評価を得たという。

ゲッツナー (オーストリア) の防振材採用

8年に始まった。日本での開催は昨年10月12日～11月14日に行われ、34カ国から約60人が参加した。イベントに先立ち、レッドブル・ジャパンが会場となる東京都渋谷区のSIA青山ビルディングの1階と5階を改修し、大小八つのスタジオを設置した。ゲッツナー社の日本法人である日本ゲッツナー

防振パッドを使用した浮き床



アーティスト多数が高く評価

ーがスタジオの防振に必要な技術やノウハウを提供し、日東紡音響エンジニアリングが施工を担当。建築家の隈研吾氏が意匠設計を手掛けた。

メインスタジオには、室内を二重構造にして防音性を高める「BOX-IN-BOX」構造を採用。スタジオの防振に効果のある浮き床や天井につり型の防振パッドを導入した。これらの対策により、スタジオに隣接する部屋や周囲に音や振動が伝わらないようにし、レコーディングに最適な環境を提供したという。

日本ゲッツナーのウィンフリード・リース社長は「音響分野では、当社の床、壁、天井の防振対策は最高水準の性能を誇る。オーストリアを代表するレッドブルと社長の提携はわれわれにとって大きな意味を持つ」とコメントしている。